

1. わたしたちと税のかかわりについて

はじめに

わたしたちの身の回りには、国や地方公共団体による「公共サービス」や「公共施設」が多く存在しています。

これらは、わたしたちが健康で文化的な生活を送るためにはなくてはならないものですが、提供するためには、たくさんの費用がかかります。

その費用はわたしたち国民が「税金」という形で負担し、広く公平に分かち合い、支え合っています。

税の役割を正しく理解し、関心を持つことは、社会の一員としてとても大切なことです。

公共サービス・公共施設

【全ての国民が無料（又は安価）で等しく受けられる】

ゴミ処理費用

（令和元年度）

約2兆4,172億円
国民1人当たり約19,200円

国民医療費の

公費負担額

（令和元年度）

約16兆9,807億円
国民1人当たり約134,600円

公共サービス

警察、消防、
ゴミ収集、福祉など

公共施設

学校、公園、道路など

警察費・消防費

（令和元年度）

約5兆4,478億円
国民1人当たり約43,200円

出典：「地方財政白書」（総務省）、「人口推計の結果の概要」（総務省統計局）、「国民医療費の概況」（厚生労働省）に基づいて作成

公立学校の児童・生徒1人当たりの公費負担教育費（令和元年度）



小学生

約928,000円



中学生

約1,091,000円



高校生（全日制）

約1,016,000円

出典：「地方教育費調査」及び「学校基本調査」（文部科学省）に基づいて作成